

BCFのご紹介 (BIM Collaboration Format)

...

インプリメンテーション分科会リーダー
山本 賢司

1



BCF 紹介の流れ

- BCFとは（BCFの成り立ち）
- BCFで何かできるのか
- BCFのリリース状況と仕様
- BCFのデモ紹介
- 国内システムでのBCFの取り組み状況

2



BCFとは

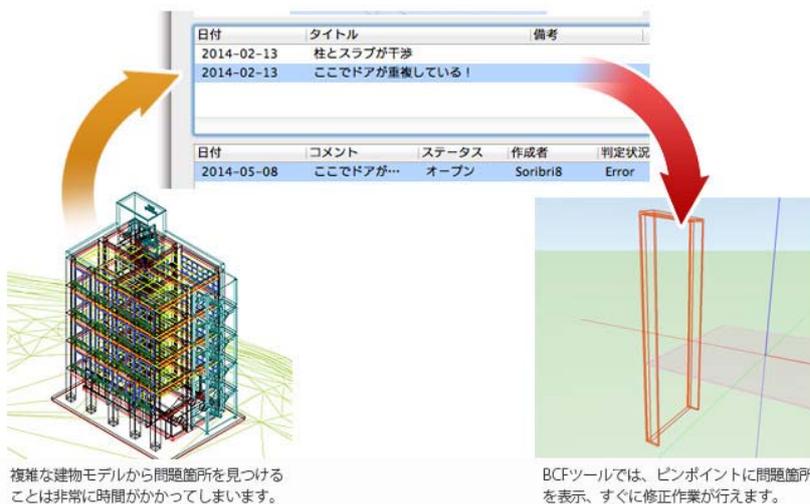
- BCF (BIM Collaboration Format) は、構造計算ソフトウェア開発会社TEKLAと、IFCモデルチェッカー開発元Solibri社を中心に、いくつかのソフトウェアベンダーの協力のもとに制定した「IFCファイルを利用するユーザーの相互コミュニケーションを容易にする」フォーマットである。
- IFCモデル階層上にテキストコメントやスクリーンショットを追加するための統一フォーマットとしてBCFファイルは作成された。
- 2014年にbuildingSMARTの標準仕様に採用される。

3



BCFで何ができるのか

- 指摘箇所を的確、かつ確実に把握/修正し、クオリティの高いBIMモデルのデザインや更新がBCFツールによって可能。
- 修正個所の情報のみでのコミュニケーションが可能となるのでIFCデータの直接やり取りの頻度が減る。



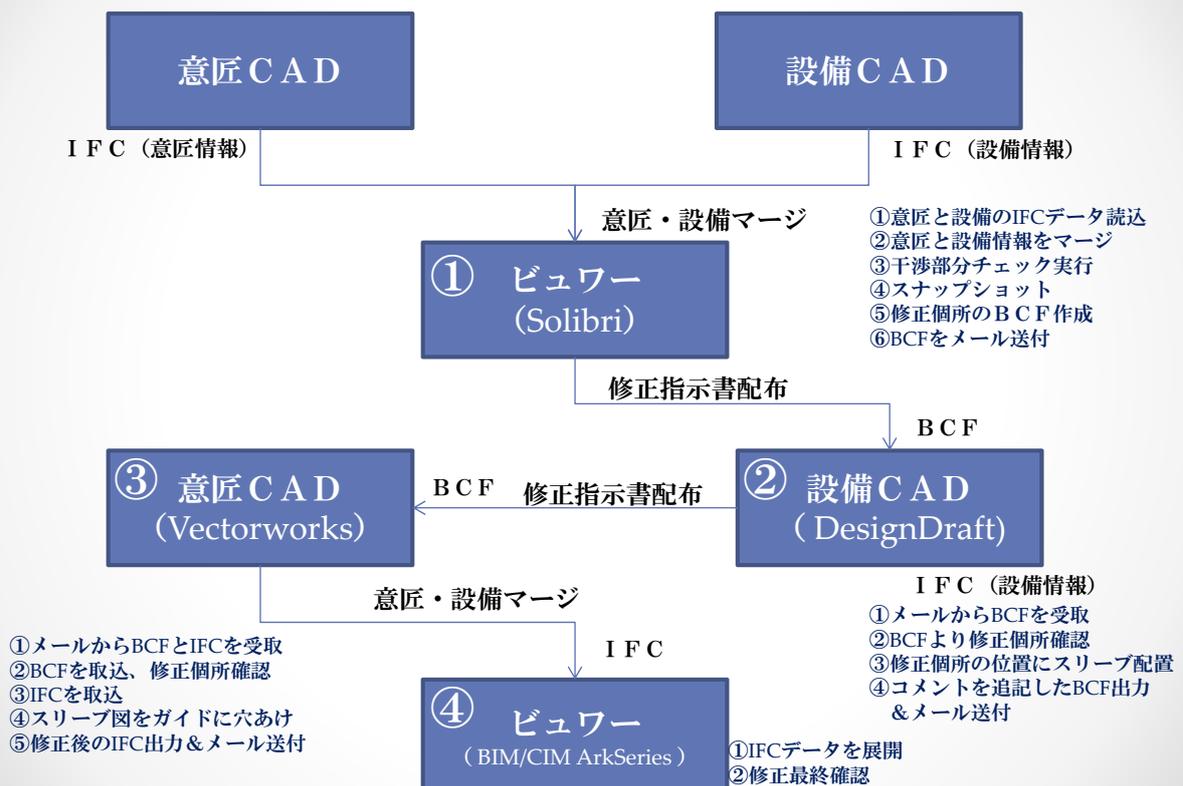
4



BCFのリリース状況と仕様

- BCF 1.0 (2010年)
 - Markup. Bcf (コメント情報、日時等)
 - Viewpoint. Bcfv (対象部材と表示アングル、カメラの位置)
 - Snapshot. Png (イメージ)
- BCF 2.0 (2013年)
 - Web-Service
 - Markup. Bcf
 - Viewpoint. Bcfv
 - Multiple Snapshots (1コメントで複数枚数)
 - Extension. Xsd

BCF活用イメージ紹介



国内システムでのBCF取組の状況

- 意匠系 ArchiCAD、Revit、Vectorworks Architect
- 設備系 DesignDraftは次期バージョンで対応予定
その他のCADも次期バージョン以降で対応予定
- 構造系 TEKLA
- ビューワ Solibri、BIM/CIM Ark Series、その他